

## 学校だより

## わかくさ



平成29年度を振り返って

校長 川村 泰夫

早いもので、一年の締めくくりにこのたよりが皆様のお手元に届くのは、ちょうど高等部の卒業式の日となります。きつと13名の卒業生は、晴れとした立派な姿で、卒業証書を手を学び舎から力強く羽ばたいていったことでしょう。卒業生の皆さんそして保護者の皆様、本当におめでとうございます。

さて、平成29年度を振り返りますと、学校経営計画に示した3本柱のうち、文化・芸術・スポーツの振興について、児童生徒の皆さんの頑張りを一番に挙げなければなりません。普段の授業から積極的に取り組み、その成果が作品展やコンクールへの出品、スポーツ大会へのエントリーなどにつながり、予想を超える数々の良い成績を収め、何度何度も皆さんを褒める機会に恵まれました。目標をもつこと、目標に向けて努力することの大切さを若草の子どもたちは学んだことと思います。折しも冬のオリンピックが開幕し、まもなくパラリンピックが開催されます。オリンピックでは連日にわたり日本選手達の素晴らしい活躍がありました。パラリンピックでも続いてほしいところです。印象的だったのは、選手の誰もが、結果はともあれ、これまでの自分の努力を誇りにし、支えてくれた人々、応援してくれた方々に、心から感謝の

気持ちを書いていたことでした。自分の可能性を信じ、目標を立て、目標に向けて努力し、自己実現を図ることも、支えてくださった人々に感謝の気持ちをもち、まさに学校教育と相通するものを感じました。

さて、一年の節目がやってきます。オリンピック選手もすでに次の目標を定め、さらなる高みを目指し始動しています。私たちも来る平成30年度に向け、進んでいかなければなりません。I・G・T・K(いい学校作ろう計画)2年目を着実に進め、児童生徒の皆さんがより一層の成長を遂げるよう、教職員一丸となって取り組んでいきたいと思います。

ともあれ、平成29年度は保護者の皆様方にはいろいろのご支援、ご協力をいただきましたこと、心から感謝しております。来年度もどうか引き続きよろしくお願い申し上げます。また、高等部卒業生の保護者の皆様におかれましては、これからも「わかくさ」を温かく見守っていただき、行事などの際には元気な姿を見せにご来校いただきますと幸いに存じます。

それでは、卒業生の門出を祝い、在校生のこれからを祈念し、平成29年度の締めのご挨拶とさせていただきます。

ボトルキャップ収集  
及び学校生活アンケート報告

児童生徒部長 沖 馨一郎

ボトルキャップ収集報告

今年度も環境問題に関する活動「私たちがしっかりやれるエコ活動」のテーマの一つとして児童生徒会を中心にボトルキャップ収集に取り組みしました。回収したボトルキャップは、高知県労働者福祉協議会を窓口として、リサイクル業者に買い取っていただき、その対価を発展途上国の子どもたちの支援活動をしている3つの国際支援団体に寄付をして、ポリオワクチンや栄養給食として、その子どもたちに届けることになっています。1学期に集まったボトルキャップは68,1キログラムで34,1人分のワクチンになり、214,5キログラムの二酸化炭素削減をすることができました。また、今年度は高等部の作業学習でも取り組んでもらいました。2・3学期に集まった分についても3月に送ることになっています。今後ともご協力をお願いします。

学校生活アンケート報告

6月と11月に「学校生活アンケート」を実施しました。このアンケートは、児童生徒が学校生活を送る中でどのようなことを感じているのかについて、率直な気持ちを伝えてもらうために行っています。アンケートの中には、児童生徒からさらに楽しい学校にするためにしたいこと等、いくつか意見を出してくれています。できるだけ寄り添えるように検討していきたいと考えています。今後も児童生徒が楽しく学校生活を送ることができているかを知り、一つの方法として、このアンケートを

役立てていきたいと考えています。

ご家庭の方でも何か気になることがありましたら、遠慮なく担任まで連絡ください。よろしく願います。

## 小学部より

小学部主事 堀 ゆかり

小学部「卒業を祝う会」  
3月2日(金)、小学部では、6年生の「卒業を祝う会」を行いました。

卒業生2名が拍手で迎え入れられ、みんなの前で卒業生が紹介され、在校生がプレゼントを渡しました。各学級から、二人の大好きなキャラクターが付いたエプロンやクッション、思い出の写真が飾られた写真立てなどが贈られました。この日のために、みんなが一生懸命作りました。卒業生からは、大好きなキャラクターの付いたとても可愛らしい手作りの衝立が贈られました。プレゼント交換の後はお楽しみゲーム「何がでてくるかな!」。子どもたちの前に、ミッキーマウスとミニーマウスのパネルが登場。2組に分かれて卒業生と一緒に一人ずつ紐を引いて、パネルのカードをはがしていききました。全部のカードがはがれると、なんと!可愛い卒業生二人の写真が出てきました。ゲームを楽しんだ後は、卒業生のスライドショー「楽しかったね」6年間の思い出を見ました。小学1年生の頃の入学式や、6年間の様々な学習の様子や写真がスクリーンに映し出され、二人の可愛い笑顔や成長ぶりに思わずしんみり…感慨深い教員一同でした。『旅立ちの日に』をみんなが歌い、在校生からお祝いの言葉を贈りました。卒業生は、「中学部になってもがんばります!」と笑顔で挨拶。最後に、在校生みんなが花道をつくり、卒業生と握手しながら別れを惜しみまし

た。  
 中学部になっても元気に頑張ってくださいね。



### 中学部より

中学部 卒業生を送る会を行いました。

3月2日(月曜日)5・6限、ワンダ―教室で卒業生を送る会を行いました。室内いっばいに飾り付けられた装飾は、1・2年生が学年の時間に制作しました。5色に彩られた大きな星は、5名の卒業生に大きく羽ばたいて、いつてほしいという願いが込められています。

2年生の橋村君の司会進行で、送る会がスタートしました。まず、卒業生の紹介では、2年生の土居さんと谷脇君が、iPadを使いながら卒業生のがんばったことなどを発表してくれました。次に、卒業生のことはと合奏です。合奏では「さんぽ」の曲に合わせて、卒業生がキーボードやドラム、パッド、ギ

ターで演奏しました。それぞれの出す音がきれいに奏でられていて、とても温かな気持ちになりました。次はプレゼント交換です。在校生からは手作りバッグを、卒業生からは鉛筆立てをそれぞれ交換しました。在校生が作ったバッグは、ステンシルでそれぞれの名前を入れ、デコパージュでかわいい模様を貼り付けて仕上げました。世界にひとつのバッグ、卒業生も喜んでくれていたようでした。最後は「世界にひとつだけの花」をみんなで歌い、盛大に送る会を終えることができました。

向夏花さん、美湖都さん、由姫乃さん、美妃さん、皓義さん、高等部に進学しても、自分らしくがんばってください。卒業おめでとうございます



### 高等部より

高等部主事 河野 美知

2月13日、13名の3年生の「卒業を祝う会」を行いました。

最初は卒業生一人一人の言葉。3年間の思い出や学習の成果等、それぞれの思いをそれぞれの表現方法で在校生と教職員に伝えた卒業生。ちょっとしみりした空気も流れましたが、在校生は先輩の言葉をしっかりと聞いていました。

その1、2年生から3年生に送られたのは、心のこもった寄せ書き色紙でした。13名一人一人に向けて贈る言葉が詰まった色紙は、それぞれに歩んでいく道の途中で、折々につけて力となっていくことでしょう。

その後は、祝う会の恒例となった「バールンバレー大会」。昨年もおおいに盛り上がりましたが、今年も体育館に大きな声援や歓声が響き渡りました。大きな二つのバールンを使つてのゲームは、どこからバールンが飛んでくるかわからず、気が抜けません。チームで声を掛け合い、カバールンあつて、最後まであきらめずに熱戦を繰り広げました。そんな中でも、リーダーシップを発揮したのはやはり3年生でした。そんな頼もしい先輩の姿を、後輩たちは決して忘れることはないでしょう。3年生にとっても、高校生活の大切な思い出の一つとなったことと思います。

卒業生の皆さん、若草とともに学んだ仲間のことを忘れず、そして、新しい出会いも大切にしてください。これからも笑顔あふれる毎日であり、また、高等部みんなでお祈りしています。

ご卒業おめでとうございます。



### 寄宿舎避難訓練

1月15日(月)に夜間の地震避難訓練を実施しました。

今回は舎生への告知なしの訓練でした。夕食後に避難警報が鳴り、突然のことにとっても驚いていましたが、防災頭巾をかぶり、机の下にもぐって安全な態勢をとることができていました。

定期的に避難訓練を続けてきた成果だと思われます。とても落ち着いて行動できていました。

今後も避難訓練を継続していきたいと思っています。



# 寄宿舎新年会

寮務主任 中島伸一郎

1月17日(水)に、高知大学奇術部の方々がおいで下さり、マジックとジャグリングのショーを披露してくださいました。子どもたちは、お手伝いを頼まれてショーに参加したり、マジックのタネを見破ろうとまばたきもせず、真剣な表情で観入っていました。そして、初めて間近で観るマジックやジャグリングに「すごい！」と目を輝かせていました。技が一つ一つ決まると大きな拍手が沸き上がりました。



見事なジャグリング



マジックにみんなくぎ付け



はじめの挨拶で歓迎



一緒に参加したよ



たのしい～



奇術部のメンバー5人

# 研究部より

研究部長 前田 正博

平成29年度の研究部の取り組みについて

【研究テーマ】

子どもたちが主体的に学ぶための教育課程の検討、主体的・対話的で深い学びの視点で教科指導や教科等を合わせた指導の充実を図る

本校は肢体不自由特別支援学校で、在籍する児童生徒の障害は重度・重複化、多様化してきています。また、発達段階が異なるため一人一人の教育的ニーズに応じた指導を一層充実することが求められています。

そのような実態を踏まえ、以下の3つの視点での授業改善に取り組み1年間の実践研究に取り組みました。

① 主体的な学びを実践し、授業における評価規準を策定、検討する。

② 対話的な学びを保障するために、一人一人の表現手段等の工夫を図る。

③ 深い学びを追求し、子どもたちの学習が般化されるような取組を行い、実践事例を蓄積していく。

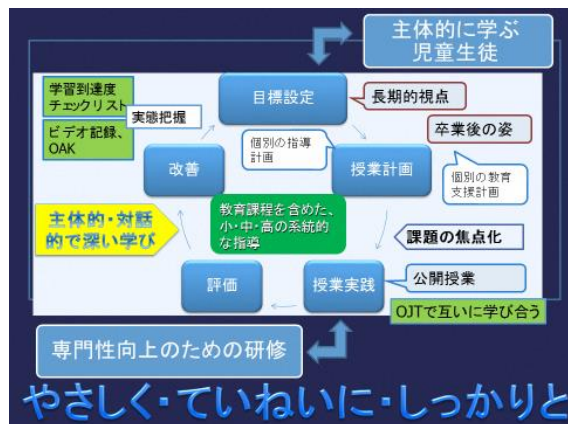
【取組の実際】

それぞれの課題を解決するために、昨年度までと同様、縦割りグループを編成し、研究を推進しました。各グループともに、ていねいに個々の児童生徒の実態把握を行うとともに、個別の教育支援計画・個別の指導計画を活用した、PDCAサイクルでの授業づくりに取り組みました。具体的には上記の3つの視点をもとに、一人1回以上の公開授業を行い、全校で様式を統

一した指導案や振り返りシートを活用しながら授業改善に取り組みました(図1参照)。そして、日々の授業改善を通じ、主体的・対話的で深い学びの視点に基づきながら教育課程の検討につなげてきました。

全校では、夏休みに外部講師を招き、コミュニケーションについての研修を行い、教育課程研究集会では分校も交えながら日々の実践について報告しあい、検討することができました。

1年間の取組を通して、以下の点が成果として上げられると考えます。  
(1) 主体的学びでは、授業における評価規準の策定を行うための検討チームを作り、授業改善シートの作成を行うことができた。(2) 対話的学びでは、外部講師を招いて研修を行うことでコミュニケーションについて学び、表現手段の工夫を図ることで実践に活かすことができました。(3) 深い学びでは、一人1回以上の公開授業を行うことで実践事例を蓄積することができました。



＜図1 研究推進のイメージ＞

来年度は、それぞれのグループで見えてきた課題を整理しながら、思考力・判断力・表現力を育成するために主体的・対話的で深い学びの視点をもった授業改善を行い、教育課程の検討を図りながら児童生徒の実態に応じた教科指導の充実等を目指していく必要があるとおもいます。

# 平成29年度各種受賞

○ 高知県児童生徒表彰(受賞)

松尾 美咲さん(高等部2年)

竹村 萌さん(中学部2年)

北川 夏帆さん(高等部2年)

徳弘 希伊さん(高等部3年)

○ 第32回紙とあそぼう作品展

主催：紙とあそぼう作品展  
いの町紙の博物館長賞

「あじさいくわしたたちの花」中C  
入選

「花火ドーン！」小1・2

「広い海の中に！」小3・4

「仁淀の秋：コスモス」中訪問

○ はるのあじさいまつり

フォトコンテスト

主催：あじさいまつり実行委員会

宮崎さやかさん(中学部1年)

○ 第36回肢体不自由児・者の美術展

／デジタル写真展

主催：日本肢体不自由児協会

文部科学大臣奨励賞

松尾 美咲さん(高等部2年)

佳作賞

中越 海翔さん(高等部2年)

北川 夏帆さん(高等部2年)

公文 可子さん(高等部3年)

○第24回全国特別支援学校文化祭  
主催：全国特別支援学校文化連盟

「写真部門」優秀賞

山本 祥生(高等部2年)

池添 生純(高等部3年)

○第52回高知県美術教育総合展

「平面の部」入選

川崎 杏さん(中学部1年)

谷相 明陽さん(中学部2年)

「立体の部」入選

竹村 萌さん(中学部2年)

土居 柚葵さん(中学部2年)

田中 美妃さん(中学部3年)

○第50回手紙作文コンクール

主催：日本郵便

銅賞

池添 生純さん(高等部3年)

○高知県体育協会表彰

主催：高知県体育協会

北川 夏帆さん(高等部2年)

○高知市スポーツ賞

主催：高知市教育委員会

奨励賞

竹村 萌さん(中学部2年)

松尾 美咲さん(高等部2年)

北川 夏帆さん(高等部2年)

○はばたき賞

主催：全国はばたきの会

(全国特別支援学校

肢体不自由教育校長会)

徳弘 希伊さん(高等部3年)

児童生徒の皆さん、受賞おめでとうございます。



## 作品紹介

本年度、各賞を受賞した作品の中から、一部の作品を紹介します。



「スカイツリー」池添生純



「修学旅行の朝ごはん」山本祥生



「ベルとボンド」公文可子

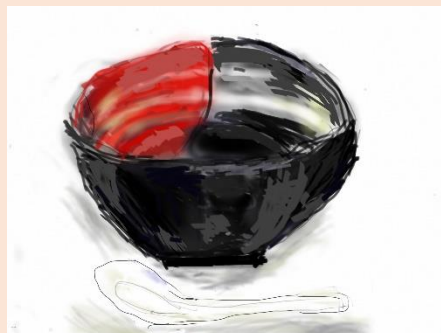


「大きい貝」北川夏帆



文部科学大臣奨励賞

「おわん」松尾美咲



「T・S」中越海翔